

誰でも利用できる、実際の建材・住設機器などの
3Dデータが豊富に揃った国内最大級のカatalogサイト
CADとの連携でさらにリアルで具体的な提案が可能に！

3Dカタログ.comに収録された建材3Dデータと、3D建築CADシステム「ARCHITREND ZERO」をはじめとした、連携対応CADとのシームレスなデータ連携が可能^{*}。シミュレーションした3D建材・設備データを使った設計を実現し、お客様に具体的な完成イメージを伝えることができるほか、積算や外皮計算に必要な情報も建材ごとに同時に取得することができます。

また、3Dカタログ.comでの3Dシミュレーションはスマホやタブレットにも対応しているため、場所を選ばずどこでも誰でも利用が可能です。

※CAD連携には3Dカタログ.comの有料契約が必要です。

メーカー
約210社
5200シリーズ
収録!

CAD連携
30日間
無料体験
実施中!

ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2020
社会業界特化系ASP・SaaS部門
「ベストイノベーション賞」を受賞しました!

建材・設備と住まいの3Dシミュレーションサイト
3Dカタログ.com
https://www.3cata.com/

3Dカタログ×CAD連携機能を動画で紹介しています (有料契約Aプラン・Bプランでご利用いただける機能です)

■3DカタログコンテンツのCAD利用

Aプラン Bプラン



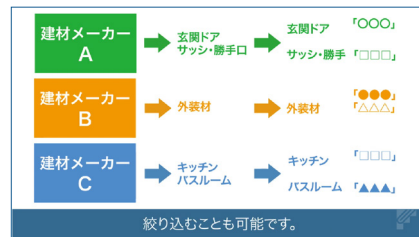
https://youtu.be/qiPuiysklbY



弊社のCAD「ARCHITREND ZERO」をはじめとした連携対応CADでは、3Dカタログ.comサイト上でシミュレーションした建材・設備データをCADに配置することができます。配置した建材・設備データは、各種図面やプレゼン資料、積算などに連携します。

■オリジナルカタログ機能

Aプラン Bプラン



https://youtu.be/179cCKk3XxQ



設計や施主へのプラン提案時に、取扱い可能な建材を「オリジナルカタログ」として設定し、限定した製品のみで運用することが可能です。 社内の利用者間で設定を共有もでき、取扱いのない建材の使用を防ぐことができます。

■ご提案機能(カラーコーディネート)

Bプラン



https://youtu.be/d8MNI06q8tk



ARCHITRENDシリーズで作成されたプランを3Dカタログ.comにアップロードし、施主へのプラン提案が可能です。施主はWEB上で気軽にプランの確認ができ、さらに好みの建材・設備のコーディネートすることも可能です。

建築事例・スタラボ〈働き方改革のヒントがここに!〉

夢を最初にデザインします FUKUI COMPUTER

ARCHITECT
STYLE LAB
https://archi.fukuicompu.co.jp/architectstylelab

ARCHITREND ZERO × 3Dカタログ.com

ユーザー導入事例

ハーバーハウス株式会社 (新潟県新潟市)

ARCHITRENDと3Dカタログを駆使した打合せを核に 施主の要望に適確に応えた注文住宅を年間450棟供給

新潟市のハーバーハウスは2006年設立の若い住宅メーカー。モデルハウスも営業マンも持たず、施主の要望に応える完全自由設計という独自の家づくり戦略で急成長を遂げ、省エネ住宅だけで3,000棟を超える施工実績を蓄積。現在も年間450棟余を供給し続けています。そんな同社の家づくりを支える、ARCHITREND ZERO (以下ARCHITREND)と3Dカタログ.com (以下3Dカタログ)の活用法について設計デザイン室の富田氏、小見氏、佐藤氏に伺います。



ハーバーハウス株式会社 設計デザイン室(左より)
富田 陽平 氏 課長 設計士 商品開発チーフ
佐藤 美樹 氏 設計士 商品開発アシスタント
小見 友美 氏 コーディネート課 主任(インテリアコーディネーター／整理収納アドバイザー二級)

COMPANY PROFILE

ハーバーハウス株式会社

- 設立: 2006年8月
 - 代表者: 代表取締役 石村良明
 - 資本金: 1,000万円
 - 本社: 新潟県新潟市
 - 事業内容: 一般住宅の設計・施工、住空間の室内演出・デザイン、健康・環境に資する住宅設計・施工、住宅のリフォーム、住宅フランチャイズ事業ほか
- https://www.herbarhouse.jp/

業界情報や製品活用事例、イベント情報など、建築の旬な情報満載!

ARCHITECT
STYLE LAB
建築事例サイト スタラボ

福井コンピュータアーキテクト スタラボ
https://archi.fukuicompu.co.jp/architectstylelab/
スマホはこちらから▶



福井コンピュータアーキテクト株式会社

本社／福井県坂井市丸岡町磯部福庄5-6

札幌・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・さいたま・千葉・東京・川崎・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・福岡・熊本・別府・宮崎・鹿児島・那覇

●お問合せは
【福井コンピュータグループ総合案内】
ナビダイヤル 0570-039-291

●資料請求・お見積り・デモ依頼などお気軽に
福井コンピュータアーキテクト 検索
archi.fukuicompu.co.jp

■ARCHITREND+3Dカタログがメインツール

——価格を抑えながらも全棟自由設計なのですね？

富田氏●はい、当社が提供する住宅プランはどれも完全自由設計プランです。プランごとに基本仕様や設備はある程度決っていますが、間取りや内外装デザインは基本価格内で自由にアレンジできます。プランも多彩で、たとえば「EXY」は住みやすく購入しやすい高品位住宅として若者の支持を集めており、近年話題のインナーガレージを取入れた「PROTH」や「REGA」も、スノースポーツが盛んで釣好きの多い新潟ならではのプランとして人気です。また、ガルバリウム外壁に無垢パネルが印象的な「ORGA」もデザイン志向の強い商品として人気上昇中です。

——それにしても自由設計で年間450棟とは凄いです

富田氏●住まいは一棟一棟、立地条件が異なりますし、それぞれ家族構成やライフスタイル、好みも違うのが当たり前です。お打合せは、私たち設計士やコーディネーターが直接、施主ご家族のお話をじっくりお聞きします。そのため、弊社には新築の営業マンがおりません。そして、ご家族の将来まで視野に入れ機能的かつわくわくするようなプラン、デザインを企画・提案することに大きな力を注いでいます。

——すると打ち合せ自体が非常に重要になりますね？

富田氏●その通りです。お客様の立場に立ってとことんお話を伺うのはもちろんですが、その打ち合せやご提案をスムーズかつ効率よく行うことがとても大切です。そのためには、お客様にプラン内容を正しくご理解いただきスピーディにジャッジしてもらい、ご要望には素早く応えて適確に次の提案へ反映させなければなりません。そこで私たちにとってカギとなるのが、ARCHITRENDと3Dカタログの活用です。



事務所での打合せはディスプレイ2画面を使って、初回より3Dで提案・要望をその場で反映

——では、その実際の活用法をご紹介します

富田氏●設計では、基本的には全てARCHITRENDと3Dカタログの素材を使ってお客様との打ち合せを行っています。本社には専用の打ち合わせスペースがあり、ディスプレイを2台置いたテーブルがたくさん用意されています。ここへお客様をお招きし、作成したプランのイメージパースをお見せしながら打ち合わせを進めていくわけです。もちろん第1回のプラン提案の段階から3Dでお見せしていきます。時にはお客様の要望を受け、その場でプランに手を加えたり変更したり……素早く対応できるのもARCHITREND+3Dカタログの強みですね。そういうやりとりを何度か行いプランがある程度固まってくると、インテリアコーディネーターとの打ち合せも始まります。小見氏●私たちインテリアコーディネーターも、お客様との打ち合せにARCHITRENDを使いますが、設計担当とは少々使い方が異なります。コーディネーターの場合、設計が作ったプランが既にある状態からのスタートで、言わばその立体にさまざまな「色」を付けていく仕事なんです。だから、3Dカタログの活用が一段と重要になってくるわけです。

——設計もコーディネーターもARCHITRENDと3Dカタログがメインツールなんです

富田氏●その通りです。当社では「ARCHITRENDを使えること」が業務を行う上での大前提となっているんですよ。実際、本社でも事務方のスタッフ以外は、ほぼ全員が使っていると思います。

■リアルなパーツでのご提案が効率化のカギ

——なぜ初期の打ち合せからARCHITRENDで？

富田氏●2Dの平面図等では、建築の素人であるお客様にとって、どうしても具体的にイメージし難い面があります。やはり立体として表現してお見せすることで、初めてプランの意図が正確に伝えられるんですね。しかも、前述したように私たちは打ち合せの場でお客様のご要望に応じてプランを作成、変更することも多いので、作りあげたモノをその場で素早く立体化して見せられるARCHITRENDのスピードも、非常に重要な武器となるわけです。

——3Dカタログについてはいかがですか？

小見氏●たとえば外壁や床材など素材関連のパーツは



ARCHITREND ZEROで制作したCGパース(外観・内観) 3Dカタログ.comの実建材を使用し、立体的でリアルなパーツのイメージでご提案。

頻繁に改廃されるので、最新のパーツで提案しようと思ったら、やはり3Dカタログが便利なのです。更新が早くて新しい素材もどんどん入れてくれますから。本当にリアルなパーツで再現したビジュアルで、お客様にご提案できるわけです。

——提案段階でそこまでリアリティが重要に？

小見氏●とても重要です。特に外装のご提案では、立体的でリアルなパーツのイメージでご覧いただかないとお客様も私たちの提案内容を実感しづらく、決定打を見失いがちです。時には「本当にこの外壁でカッコよくなるかな？」とか「外壁の2色を何処で塗り分ければきれいになるのだろう？」と、考え込んでしまわれることも……。当社の打ち合わせスペースには建材サンプルも用意してあるので、お客様に選んでいただいたモノをARCHITREND+3Dカタログでパツパツと貼ってお見せすればお客様もポイントをつかんで素早く判断できるわけで。この手法には、お客様の決断を促す効果もあると感じています。

佐藤氏●これは設計でも同様です。特に私の場合、内観パースを作ることが多いので、3Dカタログの活用は重要なポイントとなります。内観パースは「外観イメージはあるが内観はどうしよう？」という時に作りますが、お客様はWeb等をご覧になってイメージの方向性をお持ちの方が多いのです。でも、それを「検討中の間取りで実現できるか？」となると、平面図では想像しきれません。そこで弊社で使っている素材のパーツをプランに反映させるのが実感値も高く、分かりやすいのです。……それから、実はこれ私自身の勉強にも役立ったんですよ。

——ご自身の勉強に？

佐藤氏●ええ。私も入社当時なかなか立体のイメージが



つかめず苦労したのですが、SNSやインスタで内外装の写真を見て勉強し、ARCHITRENDで実建材のパーツを当てながらいろいろ試すうちにセンスが磨かれ、見せ方のポイントもつかめてきた気がします。ARCHITREND+3Dカタログは仕事として勉強できるツールかな、と思っています(笑)。

■使い方広がる ARCHITREND+3Dカタログ

——試してみたい機能や手法などありますか？

富田氏●そうですね。まだ使い切れてない機能としては、フォトモンタージュがあります。現地の実景写真を取り込んで、制作した3Dモデルと合成させるという機能ですね。あれを活用したいと思っています。私たちは打ち合せでGoogle Earthを使って「こんな敷地に建てますよ」とご案内していますが、これをもっと進化させられないかな、と。たとえば現地のGoogleマップ3Dへプランの3Dモデルをリンクさせて、Google Earth上でお見せできたら良いですね。Googleマップを辿っていくとボンと新居が建っているという……リアルだし分かりやすいはずですよ。

佐藤氏●ちょっと近未来チックですが、お客様が描かれた手描きの間取図とかをお持ちいただくことがあるので、これを取り込んで簡単に立体化できたら喜んでいただけるかも知れませんね。

——佐藤様のアイデアは当社の「まどりっち」というiPadアプリで実現できます。ぜひお試しください。

佐藤氏●そうなんです。試してみたいです。小見氏●私も企画したプランの外観や内観のイメージの色や素材を、お客様側でスマートフォン等を使って自由に着せ替えできたら良いな……とずっと思っていたんですが、これもすでに3Dカタログの機能としてあるみたいですね(笑)。今度、試します！